

審査会終了時審査員意見（審査会全般）

- 市民連携の連携の評価が難しい。事業協力を留まっている感がある。募集要項に連携の定義を詳細に記載すること。
- 継続事業については、昨年度の成果と課題を記載する欄を設ける必要がある。
- 審査会の場に団体の規模をみるため、団体の決算書が必要。
- 市民連携事業をステップアップ事業に変更しての交付の方向で調整する。
- 予算に残額が生じるので、再募集の方向で委員会に諮る。
- ヒアリングの準備不足が目立った。何を伝えてもらうのかをより明確に申請団体に伝える。
- 事業内容をきちんと計画書に落とし込んでもらう。
- 申請者、審査員にも時間が分かるように工夫する。
- 申請団体の交流を事務局でセッティングすると良いのではないか。名刺交換だけでも効果的だと思う。
- 団体からの説明が長すぎるので、プレゼン時間を短くして、質疑を長めにしてもらいたい。